

おおぞら OZORA

平成17年度テーマ

『感動』 {be impressed} 独自価値を高めよう



鳥取県東部中小企業青年中央会

- ◆ 発行人 勝原 章 (平成17年度・会長)
- ◆ 編集責任者 井上 法雄 (総務実行委員会委員長)
- ◆ 編集委員会 総務実行委員会

URL : www.tsc21.gr.jp E-mail : tsc@tsc21.gr.jp

綱領

- 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。

平成17年度 テーマ

独自価値を高めよう

「感動」 be impressed

AKIRA KATSUHARA



会長 勝原 章

2006年、新たな年を迎えました。昨年から日経平均株価は上昇傾向にあり、また首都圏を中心に景気も多少上向き傾向にあると言われていています。そのような中で最近、格差社会という言葉が聞かれるようになりました。大都市と地方都市の格差、大企業と中小企業の格差、正社員と非正社員の格差が広がっており、組織も個人もいわゆる勝ち組と負け組の差が確実に広がりつつあります。ある雑誌によると国内の企業の総固定費が、バブル崩壊前と比べると80%に削減されたと記載されていました。昔は皆同じように真面目に働いていれば総中流階級だったのが、上流階級も増えていますが、真面目だけでは生き残れず下流階級も増えています。その結果「何よりもコストダウン優先」「とにかく勝てばよい」の考え方が横行し、拳句の果て耐震偽装マンションの問題、ライブドア粉飾決算問題など、次から次へと大きな事件が多発していると思います。こんな社会背景の中で、我々東部青年中

央会のメンバーは地方である鳥取に所在し、中小企業であるなど、負け組になりやすい要素が多分に在ります。しかし経営者として社員のため地域のため、そして社会のために責任感と道徳心をしっかり持ち正しく判断し知恵を出して邁進していかなければならないと痛感します。今年の東部青年中央会のテーマは「感動」です。人を感動させるくらい喜んでもらう価値は、何事にも変えがたいものがあります。企業が嘘の無い本当の感動を社会に提唱することは、こういう時代だからこそ重要だと思います。何をしても勝てば良いのではなく本当の価値を創造し商売をすべきです。そしてこの殺伐とした社会の中、東部青年中央会は若手経営者、経営幹部の集まりとして、大志をもって社会の中で貢献できる企業創りを目指します。また、個々の会員企業が光り輝くように、仲間と一緒に力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

例会報告

REIKAI HOUKOKU

新年例会

新年例会をおえて

みなさんこんばんは 1月19日新年例会が無事終了いたしました。

当日は、風邪、インフルエンザが猛威をふるう中、来賓、親会、OB、現会員多数出席していただきまして、ありがとうございました。

今年は例年とちがい 余興等はおこな



わず、おごそかな開催で、また19日という事もあり新年ムードはございませんが、その分名刺交換などの交流ができたと思われ

ます。東部青年中央会第31期あと半年となりましたが、ちょうど折り返し地点の例会という意味でも会員同士の絆もさらに深まった



クリエーションビジネス委員会
委員長 鳥越 宣孝
NORITAKA TORIGOE

と思います。

私自身も残り半年気を引き締めてまいります。



クリスマス

クリスマス家族例会を終えて

去る12月15日に、クリスマス家族例会を開催しました。昨年度は30周年記念事業の為開催されませんでしたので、二年ぶりの開催となります。

担当委員会として9月ごろより企画を練り、ホテル担当者との打合わせ等を行ってきました。内容としては、お子様向けの縁日やプレイゾーン等を設けお子様たちには好評でそこだけは特に盛り上がりました。また全員参加の ×クイズでは、某委員長(メンタリング)の奥様が優勝されちょっとあやしい感じでありました。(打合わせは行っておりません)

感想としては、昨年度各委員会で話し合った結果に基づき、今回クリスマス家族例会を行いました。思いとは裏腹に参加者も少なく空席も目立ち寂しく思いました。こんな事なら開催しない方が良かったのではと思いました。止めることは簡単ですが継続する事に意味があり、こういう内容の例会もないといけないと感じました。

次年度はどうされるかわかりませんが、やり方は百万通りあります。会員全員で盛り上げてください。



メンタリング委員会
委員長 櫻井 幸浩
YUKIHIRO SAKURAI



例会報告

REIKAI HOUKOKU

10月例会

指定管理者制度

ビジネスに特化した会をめざしている青年中央会。

利益の増加や今までにない自分を発見する手段の1つにニュービジネスとかによる事業拡大(独立起業)等があります。

ニュービジネスの1つに“指定管理者制度”というのがあります。これは、郵政民営化を

代表とする公の事業を民に委託するものです。鳥取市に於いても同制度が今年度より開始されます。

この度、鳥取市職員ならびに鳥取市長を交え鳥取市の方針・やり方等を学びました。会員皆様の関心度も高いらしく、空席もなく出席率も80%を超えることができました。

指定管理者制度はこれから先も続いていきます。この例会をもとにして、会員の皆様の事業拡大等につながれば幸いです。

例会準備のときは副委員長の方に、行政と緻密に連絡を取っていただきとても感謝しております。例会の進行も会員皆様のおかげで滞りなく行うことが出来ました。

セカンドプロジェクト委員会の代表として会員皆様のご協力感謝いたします。



セカンドプロジェクト委員会
委員長 八木 智一
TOMOKAZU YAGI



家族例会



清水真由美さん

(コーディネイト委員会 清水委員長の奥様)

中央会の話は、主人から聞いておりましたが、この度、初めて参加させて頂き、より一層理解が深まったように思います。一番印象に残った事は、最後のキャンドルサービスです。薄暗い中、皆で協力して明かりが一つの輪になった時が、神秘的で印象深かったです。

岡本 ゆかさん

(コーディネイト委員会 岡本会員の奥様)

主人がお世話になっています。今回、初めて参加させていただきました。娘(4歳)と3人で参加いたしました。娘が楽しそうに遊んでいたのが印象的でした。いろいろな人と知り合えて大変良かったです。ありがとうございました。

例会報告

REIKAI HOUKOKU

11月例会

青中パワーで大儲けしよう!!

会員の皆様、11月例会お疲れ様でした。そして、ドリームアクト委員会の皆さんご協力ありがとうございました。

今回の例会は、講演そしてプレゼンと少し趣

を変えておりましたので、準備不足もあり、ご迷惑をおかけしたこともあったのではないかと思います。そのような中、中国経済産業局の佐藤先生にLLPについて、更には新会社法についてのご講演を頂き、大変勉強になったのではないのでしょうか。特に新会社法は皆様の関心の高いところであったと思います。

又、その後の「青中パワー」についてのプレゼン、なかなか難しいものだと、いろんな意味で感じました。(もちろんその場はパニックでしたが・・・)

ですが、皆さんからのアンケートも参考にしながら、委員会内でじっくり検討し、年度内には「青中パワー」を立ち上げたいと思います。皆さんよろしくお願いたします。



ドリームアクト委員会
委員長 千馬 高広
TAKAHIRO CHIBA

第5回 フラワーフェスティバル 開催!!

4月16日(日)
午前10時～午後3時

フラワーフェスティバル実行委員会です。皆様にご協力いただいています。

「お花いっぱい募金」そろそろ回収の時期になります。昨年以上を期待しています。宜しくお願いいたします。今年度は2006年4月16日(日)10:00～15:00に開催いたします。

今回は、お昼をはさんで行うことになりました。地域を巻き込み、全員で楽しめる、花を咲かせる感動を皆さんで共感し、東部青年中央会を広くアピールするイベントにしたいと思います。昨年同様船による周遊体験、子ども体操教室、和紙作り体験、フリーマーケット、献血を基本にその他チャレンジ企画として新しい内容を現在企画中です。実行委員会全員張り切って企画しています。期待してください!



実行委員会
委員長 谷口 昌弘
MASAHIRO TANIGUCHI



志士集う集団たれ

鳥取県商工労働部部長 山口 祥義

YOSHINORI YAMAGUCHI

正念場である。鳥取県経済は、公共事業依存型及び下請・素材移出型であったことから、最近の高付加価値型景気回復の波に乗り切れずにいる。

逆に、都市部の人材不足の状況下で、人材流出の危惧がある。こうした中で最近、県内企業も旧体質から脱却すべく、商品開発から販路開拓までの一貫した経営革新や県外・海外を新たな市場として飛躍しようとする企業が見られるようになってきた。また、産学官連携も具体的なプロジェクトとして発展しつつある。

鳥取県東部は、姫島線開通を前にして極めて重要な局面を迎えている。ヒ

ト・モノ・カネが行きかう状況が発生する中で、外への動きが加速するの、外からの動きを的確に捉え東部の発展に結びつけるのか。まさに、ハイリスク・ハイリターン状況にある。

ここ2～3年がターニングポイントになるが、その動向を大きく左右するのは情熱を持ち今後の東部経済を担うべき若者となる。青年中央会のメンバーは、まだまだ青年(?)といった意識ではなく、主役として活躍してほしい。自らの企業を自立させ大きく飛躍させることを前提としつつ、東部経済全体の利益のために連携すべき時だ。私も、個々の志士たちの輝きを全面的にバックアップしたいと思う。

1月例会来賓・OB出席リスト

来賓

	氏名	役職
1	竹内 功	鳥取市長
2	山口 祥義	鳥取県商工労働部部長
3	加藤禮次郎	鳥取県中小企業団体中央会会長
4	谷口 譲二	鳥取県中小企業団体中央会東部副支部長
5	有田 勝徳	鳥取県中小企業団体中央会専務理事
6	長倉 透	三井生命保険株式会社鳥取ブロック長

OB

	氏名	卒業年度	氏名	卒業年度
1	盛田 栄一	昭和56年度卒	11 吉田 修	平成12年度卒
2	岩崎 陽一	平成8年度卒	12 倭島 昭博	平成13年度卒
3	児島 良	平成8年度卒	13 古南 謙太	平成14年度卒
4	影井喜次次	平成9年度卒	14 酒本 康彦	平成14年度卒
5	矢谷 英志	平成11年度卒	15 岡村 雅子	平成14年度卒
6	木原 一志	平成11年度卒	16 本荘 弘幸	平成15年度卒
7	米村 年博	平成11年度卒	17 伊藤 達朗	平成15年度卒
8	山下 恭史	平成11年度卒	18 奥田 保明	平成16年度卒
9	岡田 信俊	平成12年度卒	19 山本 典浩	平成16年度卒
10	笹野 真紀	平成12年度卒		

INFORMATION

スケジュール

鳥取県中小企業青年中央会 上海市経済交流事業
2月25日(土)～27日(月)
3月オープン例会 『本業強化! 5分で完璧な自社アピールを!』コントラクト委員会
3月17日(金)
第5回 フラワーフェスティバルin湖山池
4月16日(日)
平成17年度新入会員研修会 ホテルニューオータニ鳥取
4月26日(水)

オープン例会開催のお知らせ

「売れない時代」に「売れる仕掛け」をカリスマ実演販売家に学ぶ! 「売れる」プレゼンテクニック
『本業強化! 5分で完璧な自社アピールを!』
講師 株式会社ヒューマンブレイン 代表取締役 伊とう 伸氏(実演販売プロデューサー)
日時 平成18年3月17日(金)19:00～21:30
場所 ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間
参加料 無料(ただし、事前にお申し込みが必要です。)
当日、講師著書「つかみ1秒、あと楽勝」「10秒営業術」とあなたのお名前入りの「人生企画書」(予約受付)を販売します。

新入会員紹介

谷浦 浩次
(有)東部資源リサイクル/メンタリング委員会

岸下 輝明
花のれんグループ/セカンドプロジェクト委員会

田中 雅人
(有)田中モータース/セカンドプロジェクト委員会

河場 和重
山陰放送 鳥取支店/クリエイションビジネス委員会

早川 周作
(株)プロPF Japan/クリエイションビジネス委員会

新社屋完成

株式会社エヌ・エル・エヌ
昨年11月22日にボーダフォンリニティーモールをOPEN致しました。ボーダフォンの専売店で新規・機種変更・料金収納・アフターサービス等ご提供致しますのでご利用の際は西根まで連絡ください。サービス致しますので!! (笑) 副会長 西根 伸吾

ご結婚おめでとう

清水隆文 コーディネート委員会委員長

編集後記

犬も歩けば棒(望)にあたる・・・
いよいよ2006年がスタートしました。昨今、時代を反映するような出来事や事件がマスコミ・メディアを賑わしています。しかし、我が東部中小企業青年中央会は「時代に挑み、次代を創る。」のキャッチフレーズのもっといい意味での最先端の時代を反映していきたいものです。
会員一同、心ひとつにして頑張っていきたいと思います!! (や)
編集委員 井上法雄 岡岡貴昭 小西和明 中村育史 山本浩 星宗治 橋本政彦 河戸順二 瀧本浩志 岡本洋昌